

アル・アクサ洪水第363日：トゥルカルムの凄惨な虐殺|ヨルダン川西岸地区のゼネスト|ベイルートの大爆発

The Palestine Chronicle, 2024年10月3日、脇浜義明訳、田中一弘補訳 *脚注は訳注



イスラエルの戦闘機がトゥルカルム難民キャンプを標的にし、多数の死傷者がでた。(Photo: video grab, via QNN)

主要事項

- * イエメンの武装勢力の軍事報道官は占領されたパレスチナのヤッファ（テルアビブ）の重要地点を数発のドローンで攻撃したと発表した。
- * イスラエル軍はシリアを空爆した。シリアとロシアの防空システムが西部海上を飛んでくる敵機に対応した。
- * ヒズボラは今もイスラエルのレバノン地上侵攻を撃退している。
- * パレスチナ保健省によれば、2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は41,788人で、負傷者は96,794人となった。

最新情報

10月4日 04:45am

* イスラエル・メディア：ガリラヤ西部の入植地ヤルーンで警報が鳴っている。ベイト・シェアン溪谷、ゲシエル、ミナミアーなどの北部の入植地でも警報が鳴っている。

* パレスチナ・クロニクル：占領地西岸地区の民族主義抵抗グループやイスラム・グループが、トゥルカルム難民キャンプで占領軍に殺害された人々を悼んで、今日、いくつかの行政区域で占領軍に対する総合的攻撃を行うと宣言した。イスラエル占領軍戦闘機の第一波爆撃で18人のパレスチナ人が死んだ。これは2000年の第二次インティファダ以来の虐殺である。

10月4日 04:15am

* アル・ジャジーラ：ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフ市東部の民家へのイスラエル軍の砲撃で、パレスチナ人3人が死亡、何人かが負傷した。

*アル・マヤディーン：イスラエル軍機がレバノン・シリア国境の2地点、マスナー検問所とジェイディデット・ヤブースの間の道路を爆撃した。

*ジョー・バイデン：イスラエル支援のために米軍を派遣するのかと質問されて、「我々はすでにイスラエルを支援してきたし、これからもイスラエルを守る」と言った。

*アル・マヤディーン：ベイルート南部のアル・マレイジャへのイスラエルの激しい爆撃の標的になったのは、医療センター、市民安全センター、学校であった。

*パレスチナ・メディア：イスラエルはガザ中部のデイル・アル・バラフ市を空爆。イスラエル機のハーン・ユニス東部のマアン地区爆撃で死者と負傷者が出た。

10月4日 03:00am

*アル・マヤディーン：ベイルート南部郊外のイスラエル機とドローンの攻撃となったところでは、まだ火災が続いている。

*アル・マヤディーン：またもやベイルート南部郊外への攻撃が行われた。

*アル・アクサ殉教者旅団：我らの戦士がジャバラ検問所、タイベ検問所、ニツナオ検問所、アヴニ・バウダイ入植地の占領軍兵士を攻撃した。

*アル・マヤディーン：イスラエル軍の一番新しい攻撃は東レバノンのベッカー峡谷の町ナビ・シャイトに対してである。最近の攻撃はバアルベク市付近とブウダイ、シャムスター、ハウシュ・サフィヤ、その他の町々である。ベイルート南部郊外をまた爆撃した。イスラエル軍は聖テレーズ地区を攻撃した。

10月4日 02:00am

*パレスチナ・メディア：パレスチナ・レジスタンス戦士たちはトゥルカルム市を包囲する占領軍の軍事検問所を攻撃した。

*アル・マヤディーン：イスラエル軍はベイルート南部郊外の聖テレーズ病院付近を何度も爆撃した。南部郊外への爆撃はアル・マレイジャ地区を標的にしたらしいという情報もある。

*レバノン保健省：10月3日のレバノン山脈行政区へのイスラエル軍の爆撃で2人が死亡し、15人が負傷した。

10月4日 01:00am

*アル・マヤディーン：ベイルートへの激しい空爆の爆音はシドンやティルスでも聞こえた。

*ハマス：イスラエル占領軍はトゥルカルムの喫茶店を襲撃し、多くの死傷者を作り出した。これは西岸地区へ戦争を拡大させる戦略の現れであり、残酷で、必ず失敗するであろう戦略である。

10月4日 12:00am

*レバノン・メディア：イスラエル戦闘機群がベイルート南部郊外のブルジュ・アル・バラジネ地区を爆撃した。

*米 국무省：ヒズボラが停戦提案を受け入れる意志をレバノン内の党内部で表現したとしても、それは我々には伝わってきていない。

*CNN（衛星画像と録画ビデオクリップの分析から）：イランのミサイル攻撃は少なくともイスラエルのネヴァティーム基地の建物3棟を破壊し、大型航空機を収容する格納庫二つに巨大な穴を開けた。

10月3日 10:30pm

*米国防総省：我々は大規模な地域戦争を望まない¹。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は西岸地区北部のトゥルカルム難民キャンプを空爆した。

*イスラエル軍：我々はレバノンから10発のロケットが発射されたことを検知した。何発かを防空システムが撃墜し、撃墜できなかったものは空地に着弾した。

*アル・マヤディーン：イスラエル戦闘機群が新たに南レバノンのヒアムとクファル・キラを爆撃した。

*イスラエル・メディア：イスラエル・ハヨム新聞は大規模なミサイル群がレバノンからハイファ市とその周辺に向けて発射されたと報道した。

*アル・マヤディーン：レバノン南部のオダイセのハーレット・アル・マハヒル地区でレバノン・レジスタンスと侵入しようとするイスラエル軍の間で激しい戦闘が行われている。

¹ バイデンはイスラエルの報復を支持し、油田攻撃以外の攻撃を手伝うと発言、トランプはイランの核施設攻撃を勧めている。

*カン（情報筋の引用）：イスラエルのイラン攻撃は数日以内に行われると推測される。イスラエルがイランの石油施設を攻撃すると言っているの、米国はそれ以外の攻撃を選択せよとイスラエルを説得している²。

*米國務省：バイデン大統領によるイスラエルのイラン石油施設攻撃についての発言に関してはコメントを差し控える。

10月3日 9:00 pm

*ヒズボラ：イスラム・レジスタンス作戦室は、信頼すべき筋からの情報として、今日10月3日にレジスタンス戦士の英雄的な戦いで、敵の将校と兵隊の死者の数が17人だったことを確認した。

*米国高官（アル・ジャジーラの取材で）：我々がイスラエル高官と話し合ったことから判断すると、イスラエルのイラン攻撃は差し迫っているとは思わない。

*イスラエル軍：軍は昨日南レバノンの戦闘で戦死したもう一人の将校の名を明らかにした。彼は空挺旅団第202大隊の隊長であった。

*ハマスの幹部（アル・ジャジーラの取材で）：レバノンのイスラム・レジスタンスの英雄的行動はあらゆる面で戦士たちの強力さを表現している。

*イラクのヒズボラ旅団：もしエネルギー戦争となったら、世界は一日に1200万バレルの石油を失うことになるだろう。

*イスラエル国防軍参謀総長ヘルジ・ハレヴィ：北部住民を家に帰すということは国境付近のヒズボラの施設をすべて破壊することを意味する。

*フィナンシャル・タイムズ：9月20日以降レバノンでは3,000棟の家が崩壊または一部損壊した。

*アル・マヤディーナ：南レバノンからガリラヤ・フィンガーに向けてロケットが発射された。

*ヒズボラ：アヴィヴィーム入植地にいるイスラエル兵集団にロケット弾を撃ち込んだ。

10月3日 7:30 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル戦闘機群は、ゼブキンの町とその周辺、マルジェユーン平原、クファル・シユバの町など、南レバノンの各地を連続爆撃した。

*ABC（イスラエルの安全保障関係筋を引用）：レバノンへの地上侵攻は数週間以上にはならないだろう。

*イエディオト・アハロト：イスラエル空軍はエジプトとの国境線上のニツァナ近くでドローンを撃墜した。

*ヒズボラ：今日夕方我々はサフェド市をロケット弾で攻撃した。

10月3日 7:00 pm

*アル・マヤディーナ：ゼブキンの町を戦闘機群が爆撃している。

*イスラエル民間防衛部隊：上ガリラヤのサフェドとその周辺で警戒警報が鳴った。

*アル・マヤディーナ：イスラエルの襲撃はベイルート南郊を標的にしている。

*米大統領：バイデン米大統領は、米国はイスラエルのイラン産油施設攻撃を支持するのかと質問されて、「今それを協議しているところだ」と答えた。その発言を受けて、フィナンシャル・タイムズの観測によれば、世界の石油市場で原油価格が今月の最高水準にまで高くなった。

*イラン革命防衛隊調整官：イスラエルにあらゆる種類の財政的、軍事的、安全保障的支援をする国が40カ国ある。レジスタンス軸はイスラエルだけでなく、すべての傲慢戦線と戦う。

*元イスラエル軍報道官ナッハマン・シャイ：我々が困難で、複雑で、危険な軍事作戦を行っており、必ず被害があることを、国民に告げるべきだ。

*アル・マヤディーナ：メトゥラ集落で火災が発生した。

*イスラエルメディア：ガリラヤの指にあるメトゥラで警戒警報が鳴った。

*アル・マヤディーナ：イスラエル軍は交戦線上に位置するイスラエル北部の村や町に思い耐火被覆材を配っている。

*ニューヨークタイムズ：イスラエルが第5師団をレバノン国境へ展開したことは、敵との戦いの「戦局困難」を意味している。

*レバノン治安当局筋（アル・ジャジーラの取材で）：保安部隊はイスラエル軍が南レバノンのクファル・キラから撤退したときに残した装甲車両にはブービートラップが仕掛けられているかもしれないと怪しんでいる。

² 今でも石油価格が高騰して米国民の不満が高まっているのに、イスラエルがイランの産油施設を破壊すればもっと石油価格が上がり、大統領選に不利になるから、という米評論家のコメントがある。

*レバノン軍：今日レバノン国軍は、南レバノンのビント・ジュベイル地区にある国軍関連の施設をイスラエル軍が攻撃して国軍兵一人が死亡したと発表し、攻撃のもとに反撃したと言った。

10月3日 6:00 pm

*ロイター通信（情報筋の言葉として）：湾岸諸国は自分たちが中立の立場であるとイランに伝え、戦争がエスカレートすれば湾岸諸国の石油施設が危なくなると脅威感を表明した。

*ヒズボラ：我々はアッカー湾のイスラエルの軍事産業施設をロケット弾で攻撃した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍のガザ回廊北部の町ベイト・ラーヒアへの砲撃で2人のパレスチナ人が死んだ。

*イスラエル軍ラジオ放送：レバノンから上ガリラヤ及び中部ガリラヤに向けて約10発のロケット弾が発射されたことを検知し、そのうち何発かを撃墜した。

*バイデン大統領：イスラエルのイランへの報復に関しては、今日は起きないだろう。我々はイランへの報復をイスラエルに許可する立場にはなく、助言するだけだ。

*イランのファルス通信社：シオニスト国がまた過ちを犯してイランを攻撃すれば、もっと激しい反撃を覚悟しなければならない。

*イエディオト・アハロト：昨日、イスラエル軍奇襲旅団のエゴズ特殊部隊が、死亡した兵士の遺体を持ち去ろうとする試みを阻止した。

*ワシントンポスト：一昨日、イスラエル軍の南レバノンのナバティエ攻撃で、米国民カメル・ジャワードが死亡した。

10月3日 5:00 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル戦闘機群が東レバノンのベッカー峡谷のバルベク市一帯を爆撃した。

*ヒズボラ：我々はヤルーンの町へ侵入しようとしているイスラエル軍歩兵部隊に爆弾攻撃し、何人かを殺傷した。イスラエル北部のモシャブのネットゥアにいたメルカヴァ戦車を誘導ミサイルで攻撃した。南レバノンの町オダイサ郊外のアッサフラ地区に侵入してきたイスラエル兵をミサイルで攻撃した。

*イスラエル軍：イスラエル軍は戦闘機がベイルートのヒズボラの諜報機関を爆撃したと発表した。

*レバノン保健相：イスラエルのレバノン攻撃開始後、127人の子どもと261人の女性を含む1,974人が死亡し、9,384人が負傷した。

*イスラエル軍ラジオ放送：西岸地区へブロンズのイスラエル占領軍のジュディア旅団基地の入口でイスラエル兵をナイフで攻撃しようとしたパレスチナ人が射殺された。

10月3日 4:00 pm

*イラン政府関係筋（アル・ジャジーラの取材で）：我々はカタール経由で米政府に、我々のシオニスト国への攻撃の後の地域情勢に関するメッセージを送った。

*イスラエル・メディア：ゴラン旅団のイスラエル兵たちがレバノンへ侵攻して地雷に触れて負傷、ヘリコプター数機で負傷者をイスラエル内病院へ運んでいる。

*ヒズボラ：我々は、マルーン・アル・ラス西部を迂回してレバノン内へ侵攻しようとしていたゴラン旅団の兵隊を地雷で捕らえ、殺傷した。

10月3日 3:00 pm

*イスラエル・メディア：レバノン国境の戦闘地へヘリコプターが駆けつけている。北部戦線で厄介な事件で死亡し、重傷を負った兵士たちをヘリコプターで輸送している。

10月3日 2:00 pm

*ヒズボラ：我々は上ガリラヤのキブツ、サッセの西部にいた敵兵集団をロケット弾で集中攻撃した。我々はショメラ入植地の敵兵集団をファラク・ミサイルで攻撃した。我々はアル・バサフ入植地の敵兵集団をロケット弾で集中攻撃した。

*シリアTV：シリアはダマスカス地方の各地にドローン攻撃を受けた。

*ハマス：へブロンズのアブラハムのモスク³の閉鎖はモスクの神聖さを汚す行為だ。

*アル・ジャジーラ：ヒズボラは南レバノンのマルーン・アル・ラスの町付近に侵入したイスラエル軍に対し二つの爆発装置を爆発させた。

³ 史跡マクペラの洞窟にあるモスク。洞窟はイスラム教徒とユダヤ教徒にとって聖地であり、内部はモスクとシナゴークに二分されている。

*レバノン保健省：敵イスラエルのベイルートのアル・バシューラ地区への爆撃で9人のレバノン人が死亡し、14人が負傷した。

*イスラエル軍：この一時間のうちにイスラエル軍はレバノンからイスラエル北部に向かって約50発のロケットと2基のドローンが発射されたのを検知したと発表した。

10月3日 1:00 pm

*ガザ保健省：2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は41,788人で、負傷者は96,794人となった。

*ヒズボラ：我々はカフル・ガラディ・キブツに集結していた敵兵をファラク・ミサイルで攻撃した。我々はラミーム兵舎に集結していた敵兵をファラク・ミサイルで攻撃した。我々はキブツのミスガヴ・イムの森に集結していた敵兵をロケット弾で攻撃した。我々はアル・ラヘブ要地を移動していたイスラエル軍を砲撃し、命中した。

*イスラエル軍：我々はヒズボラがマスナア国境検問所を通じてシリアからレバノンへ武器を密輸入していることを非難する。

10月3日 12:00 pm

*ワシントンポスト（米国高官の言葉として）：イスラエルはイランへの報復を今すぐ大規模に行う必要は感じていないと我々に言った。米国とヨーロッパはイスラエルがイランの経済的施設を攻撃することを恐れている。米国とヨーロッパはイスラエルの報復攻撃が危険な全面戦争へ発展することを心配している。イスラエルはイランの核施設への攻撃を米国と協議しなかった。

*ガザ教育省：65万人以上の生徒が、次年度の学校への登校を禁止された。戦争が始まって以来、11,600人の学齢期の子どもたちが死亡した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍はユダヤ教の祭日を口実にしてヘブロンのアブラハム・モスクを閉鎖した。

10月3日 11:00 am

*ヒズボラ：我々はファティマ門へ進軍しようとしていたイスラエル軍を砲撃で追い返した。

*アル・ジャジーラ：アル・ラヘブのイスラエル国境検問所とその周辺部は南レバノンからの砲撃を絶えず受けてきた。

*イラン大統領マサード・ペゼシュキアン：敵のシオニストを罰するべきで、我々はパレスチナが解放されるまでレジスタンスを支援し続ける。

10月3日 10:00 am

*レバノンのイスラム保健当局：イスラエル軍機のベイルートのアル・バシューラにある保健当局の施設への爆撃で救急隊員7人が死亡した。

*マアリブ：イランのミサイル攻撃でネゲブ砂漠のネヴァティーム空軍基地が大きく損傷した。これはイスラエルの防空力のマイナスの影響を与える。

*アル・ジャジーラ：今朝3回目のロケット発射が南レバノンから上ガリラヤのイスラエル軍拠点に向けて行われた。

*イスラエル民間防衛部隊：上ガリラヤののキルヤット・シュモナとマルガリオットで警報がなった。上ガリラヤのメトゥラで警報が鳴っている。

*イラン大統領マサード・ペゼシュキアン：現在のガザとレバノンへの攻撃にイスラム世界が団結して当たらないと、ガザとレバノンの悲劇はイスラム諸国の明日の運命だろう。

10月3日 09:00 am

*アル・マヤディーン：イスラエル軍は南レバノンの町タイベ、アダイセとアITALルーンの町の郊外を砲撃している。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍はヌセイラト難民キャンプの銃撃と砲撃を続けている。

*アル・マヤディーン：ガザ中部のアル・マガージ東部の避難民を収容している学校へのイスラエル軍の砲撃で負傷者が続出した。

*パレスチナ・メディア：入植者グループがアル・アクサ・モスクに突入して、ユダヤ教のタルムード儀式を行った。

10月3日 08:15 am

⁴ レバノンとイスラエルのかつての国境検問所。

* イエメン（フーシ派の報道官ヤヒヤ・サーリー准将）：我々はヤッファ（テルアビブ）の重要拠点を数基のドローンで攻撃した。

* アル・マヤディーン：イスラエル軍は南レバノンの町アルヌーンを攻撃している。

* パレスチナ・メディア：イスラエル軍はガザ中部のアル・マガーシ難民キャンプ東部を集中攻撃している。

* アル・マヤディーン：レバノンのアル・ハウシュと「北の塔」（ブルジュ・エル・ジェマリ。パレスチナ難民の自治区）の間の地域、および南レバノンのティルス地区のバズーリエの入り口地域の二か所へのイスラエル軍の攻撃があった。